

第5期 **きらっとあさひプラン**ってなあに？

旭区**地域福祉保健計画**の愛称です。
身近なまちに知り合いが増え、
安心して自分らしく暮らせるまちにするための計画です。

旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザが
地域の皆さんとともに取り組みます。



基本理念

地域で支えあい 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう

1 日常的なつながりを通じた地域づくり



お互いの理解を深め、さりげない見守りや日常の交流を通じたゆるやかにつながる地域を目指します。

2 困ったときでも安心して暮らせる体制づくり



どこに相談をしても必要な支援につながる体制をつくります。課題解決に向けて様々な人や団体で話し合います。

3 地域参加のための環境づくり



誰もが気軽に地域と関わって、企業や法人なども活躍でき、既存の活動も続けやすい、環境づくりを進めます。

地区別 計画

地区ごとの課題
に対する取組

区全域 計画

区全域に共通する課題
に対する取組
地区別計画を
支える取組

きらっとあさひプランを
みんなで話し合い、確認しながら
取組を進めることが大切なんだね！



旭区 マスコットキャラクター
あさひくん

一つひとつの取組が
「安心して自分らしく暮らせるまち」
につながっているよ♪



きらっとあさひプラン
マスコットキャラクター
あさちゃん
きらっとあさひプランの
詳細はこちら

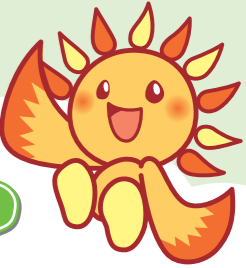


上白根地区

上白根町※

※ 他の地区にもまたがっています。

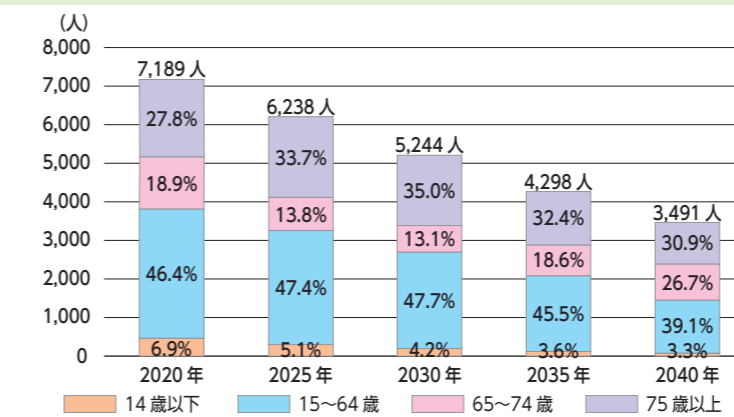
あなたの まち は、どんなまち？



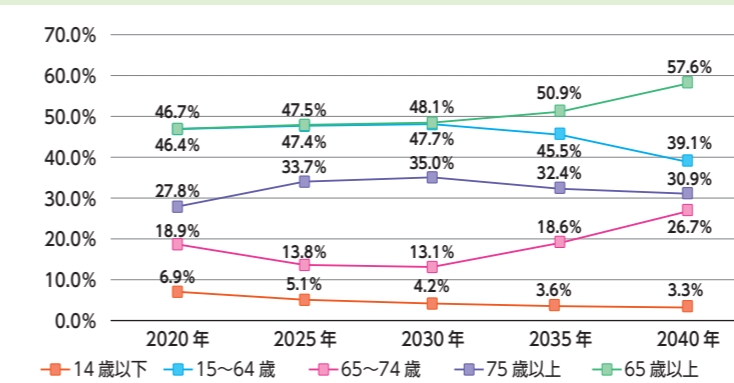
上白根地区は、緑区との区境に位置し、中堀川の源流域の北東側が大きく造成されてできた緩やかな南東斜面で、市営ひかりが丘住宅およびUR西ひかりが丘団地の大規模団地と戸建てのエリアから成り立っています。四季の森公園や里山ガーデンに接する緑豊かな環境です。

今後の人口の変化予想

◆年齢別 積み上げ棒グラフ



◆年齢別 折れ線グラフ



出典 横浜市日常生活圏域等別データ
小数点第2位を四捨五入した数値のため、合計が一致しないことがあります。



2025年の人口は約 6,200 人で、
今後は減少傾向で推移すると見込まれます。
2030年には、14歳以下は4.2%、
65歳以上は48.1%となる見込み
です。

目指す
まちの姿

上白根地区

ともに声をかけ合い、ともに助け合い、 ともに考え、ともに育ち、ともに生きる街

このスローガンが目指す街は、まるで一つの大きな家族のように、誰もが孤立することなく、安心して自分らしく暮らせる場所です。そこでは、5つの「ともに」が日常の風景として根付いています。

目標と主な取組

目標 A

あいさつ運動で、顔の見える関係と防犯力を高める

あいさつ運動を地域に展開し、あいさつ運動を通じて、住民間の「顔の見える関係」を深め、日常の異変に気づき、声をかけ合える街を育むことで、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる、防犯力の高い地域を築きます。

自治会・町内会の掲示板に
あいさつ運動のポスターを掲示



あいさつから始まる地域の絆

ひかりが丘団地自治会のお祭りや、地区社協、民生委員、連合が主催する様々な地域交流イベントを毎年開催。活動を通じて地域のつながりを深め、見守りの機会を創出しています。

ひかりが丘団地自治会主催のお祭り



目標 B

見守り連携で、孤立防止と 早期対応を実現する

地域住民が互いに声をかけ合い、支え合うことで、全ての住民が安心して安全に暮らせる「顔の見える見守りネットワーク」を構築し、孤立の防止と異変の早期発見・早期対応を可能にします。



地区社協主催の「ちいさなみちあそび」



連合主催の「ふれあい広場」



目標 C

連携防災体制を構築し、 災害時の安全確保と相互支援を図る

地域住民一人ひとりが災害への意識を高め、地域全体で連携した防災体制を構築します。地域防災拠点、自治会・町内会の連携を強化し、災害発生時における住民の安全確保と迅速な相互支援を可能にします。



地域防災拠点の資機材訓練



ひかりが丘団地自治会の
ローリングストック事業

これまでの取組

- ・あいさつ活動
- ・見守り活動
- ・防災活動



- ・各団体の単独活動に留まり、団体間の連携が少ない
- ・本来活動の主体となるべき地域住民の認知度が低い

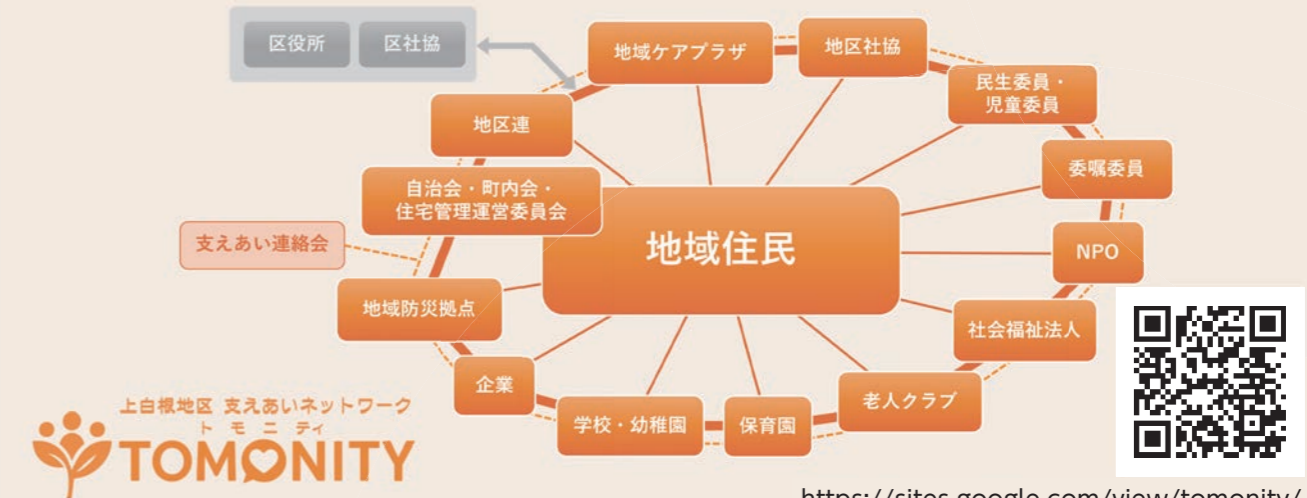


目標 D 地域連携ネットワーク「TOMONITY」を構築・運営

地域が連携して支えあうネットワーク「TOMONITY(トモニティ)」を作り、継続的に運営します。

TOMONITY(トモニティ)とは

支えあい連絡会に参画する地域組織や団体が連携し合いながら、地域住民の見守りや福祉的な支援、防災活動などを包括的に行う地域の支えあいネットワークです。



<https://sites.google.com/view/tomonity/>

推進体制

上白根地区 支えあい連絡会

メッセージ

上白根地区支えあい連絡会は以下の目標に取り組みます。

「ともに声をかけ合い、ともに助け合い、ともに考え、ともに育ち、ともに生きる街」

これは、私たちが目指す、未来の街の姿です。そして、この想いを形にするための手段としての地域ネットワークこそが、『TOMONITY(トモニティ)』です。

『TOMONITY(トモニティ)』は、「ともに」と「コミュニティ(Community)」を組み合わせせた造語。この街に暮らす誰もが、世代や国籍、障がいの有無に関わらず、互いに支え合い、共に成長していける。そんな温かい社会を、この街で実現したいという願いが込められています。

『TOMONITY(トモニティ)』は、人と人との繋がりを何よりも大切にしているネットワークです。

この上白根地区が、もっと安心で、もっと楽しく、もっと豊かになるために。ぜひ、『TOMONITY(トモニティ)』の活動にご協力ください。

そして、私たちと一緒に、この街の未来を「ともに」創っていきませんか？

本計画は、持続可能な開発目標(SDGs)の理念と目標を共有し、TOMONITYの活動を通じてSDGs達成に貢献します。

